

親子読書会45年

福岡・秋田県人会会員の川島久美子さんが、筑後地域文化誌AgenaDogena あげな・どげな17号で特集のトップで紹介されました。親子読書45年の活動です。以前、福岡県立図書館などに勤務した川島さんは、1975年、お子さんが小学校に入学し、学級懇談会で親子読書会を提案したことがきっかけで始めました。お子さん二人に買ってあげた絵本、約600冊が教材。月1回、久留米市宮ノ陣の自宅を開放、有志5人が川島さん宅に集まって、読み聞かせを始めました。絵本の貸し出しも。子供たちがテレビの漫画に夢中になる中で、少しでも本が好きになって欲しいと願う親心からです。77年、他の学年にも呼び掛けて「母と子の読書会」がスタートします。当時、80人も集まり、会場を公民館やお寺に移すことも。しかし、本を段ボール箱に詰めて会場に運ぶのが大変です。78年に自宅を増築した際、一室を開放して家庭文庫「ひまわり文庫」を開設しました。

久留米市立図書館から、団体貸し出しも受けられるようになりました。80年には「久留米子供の本の学校」を開講、著名な児童文学者、絵本作家などを講師に招きました。82年、宮ノ陣校区の公民館が新築され、「ひまわり文庫」を公民館に移設、43世帯150人が交代で貸し出しなどの世話をしました。福岡県などから助成もあり、蔵書は2200冊にも。87年、10周年を迎えた頃から、学習塾や習い事で文庫に来る子供が減り、ボランティアのお母さんたちも世話が出来なくなりました。91年を最後に地域文庫は閉じ、再び川島さん宅で「ひまわり文庫」を再開し、現在に至っています。

一方、この頃から学校では、「朝の読書」がブームになります。川島さんは、同居する孫娘が通う小学校で、月1回、始業前に15分、読み聞かせをしています。02年から、久留米市では「ブックスタート」事業も始まっています。4か月から1歳の赤ちゃんと保護者が対象。近くに住む赤ちゃん連れのお母さんに声を掛けたら、文庫に遊びに来て、赤ちゃんは絵本のバナナをなめようと寄ってきました。45年、親・子・孫、更に小さな世代につながる話です。

ところで、「あげな・どげな」は、埼玉県在住の武藤久登さんが、久留米に住むご両親の介護で月1回久留米に帰省する折にまとめています。こちらにも、頭が下がります。



文庫仲間の松尾仁美さん(左)
ひまわり文庫の川島久美子さん(右)

みちのく秋田 赤い靴の女の子

- 2020年公開に向けて 撮影続く。
- 制作委員会が映画制作への支援を求めています。
- 口座記号番号00110-1-792227
- 問い合わせ:みちのく秋田・赤い靴の女の子 制作委員会
- 事務局:〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-13-8-604
(株)ヌーベル内、FAX:03-6326-9859
- 担当者:松木一美 TEL 090-3049-7291、E-mail: kf-works@sea.plala.or.jp

出演者(三人の主役)



金額コース及び返礼一覧

3,000円	・特製ポストカード(3枚セット)
5,000円	・特製ポストカード(3枚セット) ・当映画無料鑑賞券(1枚)
10,000円	・特製ポストカード(5枚セット) ・当映画無料鑑賞券(1枚) ・赤い靴特製紙扇
30,000円	・映画エンドロールにお名前掲載 ・特製ポストカード(5枚セット) ・当映画無料鑑賞券(2枚) ・赤い靴特製紙扇
50,000円	・映画エンドロールにお名前掲載 ・特製ポストカード(10枚セット) ・当映画無料鑑賞券(2枚) ・赤い靴特製紙扇 ・映画メイキングDVD

※上記金額コース(50,000円)より多額のご支援・ご協賛をいただきました場合は当委員会にて検討の上、別途返礼をご用意させていただきます。

※予算の都合上、返礼は3,000円以上を対象とさせていただきますが、3,000円コース未満及びコースにない金額のご支援・ご協賛につきましても、ご支援者のお志しとして、心より感謝いたします。

●返礼は当映画クランクアップ後にお送りいたします。

東海林太郎 直立不動像 建立に向けて 支援呼びかけ

秋田市千秋公園近くにあった東海林太郎の胸像がレリーフと共に、新しい秋田県民会館そばに移転します。新しい県民会館は、2000人と800人の二つのホールを備え、2022年3月、完成予定です。この間、東海林太郎の胸像は、秋田駅に近いアトリオン1階に仮住まいしています。この機会に、直立不動で歌唱した昭和の国民的歌手・東海林太郎の直立不動像を建立することになりました。建立委員会、会長は藤本光男さん。

事務局は、〒010-0921、秋田市大町2-1-11、東海林太郎音楽館・館長の佐々木三知夫さん(携帯090-1933-2180)です。

立像を制作するのは、大潟村に住む彫刻家の鎌田敏夫さん(75)で、現在、原形となる木彫りの像を掘っています。支援は個人1,000円、法人10,000円が目安です。郵便局の払込取扱票は、022290-5-144012です。募金目標800万円、募金期間は、2020年12月末。直立不動像は、秋田市文化交流創造館(旧県立美術館)が完成する2021年3月頃の除幕を目指しています。